

〔事業者の理念・方針、期待する職員像：小規模保育事業〕

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	1) 子どもが様々な経験をすることを援助し、生きる力を育む 2) 子どもひとりひとりとしっかりと丁寧に向き合う保育を行う 3) 子どもの自主性や個性を尊重する 4) 清潔で安全な環境を整える 5) 子どもが毎日のびのびと楽しく過ごせる環境・保育を提供する
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	（1）職員に求めている人材像や役割
	子どもの気持ちに寄り添い保育できる保育士であること また職員同士がお互いを尊重し保育できること
	（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）
	大切な命を預かっているという責任のもと、子どもを大切に想い、子どもにとっての最善の利益を常に考えて保育にあたってほしい

〔利用者調査：小規模保育事業〕

調査対象	11月1日現在、保育園を利用している全世帯を対象に調査を実施しました。兄弟姉妹のいる世帯は、1世帯として扱い、一番年齢の低いお子さんを対象として回答してもらいました。		
調査方法	無記名方式。QRコードを記載したアンケートの案内を事業所を通じて保護者へ配付し、WEB上でアンケートに回答してもらい、取りまとめました。調査結果は選択回答だけでなく、記述式の回答についても匿名性に配慮してまとめ、保育園に報告しました。		
利用者総数	19		
利用者家族総数（世帯）	19		
共通評価項目による調査対象者数	19		
共通評価項目による調査の有効回答者数	14		
利用者総数に対する回答者割合（％）	73.7		

利用者調査全体のコメント

総合的な感想では、「大変満足」11名、「満足」3名であり、回答のあった利用者全員100%が満足と回答しています。毎日の保育サービスにおける「子どもの心身の発達」、「子どもの興味や関心」、「園における食事・おやつ」、「自然や社会と関わる機会の確保」、「職員との信頼関係」、安心・快適性における「清潔で整理された空間」、「職員の接遇・態度」、「病気やケガをした際の職員の対応」、利用者個人の尊重における「子どもの気持ちを尊重した対応」、「保育内容に関する説明」でそれぞれ満足度100%であり、高い満足度がうかがえます。

自由意見では、「先生方がとても親切で優しく信頼できます。子どもに対してもとても丁寧に接してくれています。季節の行事や工作など家ではできない体験ができ、子どもも保育園を楽しんで行っているのでもとてもありがたいです」、「小規模保育園の良さを最大限に生かした保育をして下さっていると、常日頃思っています。本当に素晴らしい先生が揃っていて、通わせて良かったと感じています」、「いつも感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます」など園に対する感謝の声が多く寄せられています。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 小規模保育事業での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	14	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「心身の発達を促すよう、積極的に子どもに働きかけてくださっています」、「小規模保育園ならではの家庭的な環境が、先生方と子どもの愛着関係をしっかり育てており、体だけでなく心の発達にも役立っていると感じています。体の発達の点では、踊りや散歩をたくさん取り入れて下っていて、とても良いと思っています」、「靴が履けるようになったり、親も知らない歌を覚えてきたり、いつの間にか自分ができることが増え驚いています」などの声がありました。				

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
2. 小規模保育事業での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになって いるか	14	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「保育園でいろいろな活動から学び、本人の興味・関心につながっていると思う事が多々あります」、「普段の保育や季節の行事など、子どもたちがワクワクするような内容ばかりです。夏祭りなどの行事のおみやげや先生手作りのバックなども細部まですごく凝っていて、大人から見てもワクワクします」、「保育園で教えてもらった歌や踊りを家でも積極的に教えてくれるので、子どもが興味を待って取り組んでいることがわかります」などの声がありました。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	14	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「子どもが喜ぶ可愛い盛り付けなど工夫されており、栄養面や形態だけでなく見た目にもこだわっていて、手間がかかるのにすごいと思っています」、「基本的にいつも「美味しかった」と言っています。時には「お家でも作って欲しい」と言ってリクエストしてくれます。保育園のお陰で食べられるようになった物もあり助かっています。美味しい工夫をたくさんして下さい感謝しています」などの声がありました。				
4. 小規模保育事業の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	14	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「神社や公園のお散歩など、自然とかわる活動を積極的に行ってくださいます」、「お散歩の行き先が色々あって、毎日楽しそうです。公園だけでなく、神社や何も無い広い原っぱから得られるものも大きいと思います。先生手作りのお散歩マップも保護者がわかりやすいです。外が暑すぎてプールに入れない日はかわいい形の氷をたくさん作って触って遊んだり、工夫されていてすごいと思います」などの声がありました。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	11	1	0	2
79%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「急な残業のときに連絡したら、いい子で遊んでいるから大丈夫ですよ教えてくれて安心しました。時間の変更を快諾してくれるだけでなく子どもの様子まで教えてください、とてもありがたかったです」、「電話で連絡した際、いつも快く対応して下さいます。雪の日はとても助かりました。延長代金も免除にして下さい、感謝しています」などの声がありました。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	13	1	0	0
93%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「毎日のおたより帳の内容からも先生が1人1人をしっかり見て下さっていることが伝わってくるので、安全面も安心しています」、「小さな園庭にも柵が取り付けられ、より安全になったと思います。保育室から玄関が見え、誰が来たのかすぐわかる環境も良いと思います」などの声がありました。				

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	12	2	0	0
86%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「親が参加する行事は年に数回なので、日程も調整しやすいと思います」、「運動会を夏にやったり、発表会は朝早くにやるので上の子とかぶらなかったのが良かったです」などの声がありました。				
8. 子どもの保育について家庭と小規模保育事業者に信頼関係があるか	14	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「一人一人きめ細やかに保育の状況をお伝えくださるので、信頼できます」、「帰りは必ず正規の先生が出てきて下さり、園での様子や相談などしやすいです。担任の先生がいない時も伝言などを必ず伝えて下さります」、「実際に些細な事で保育園生活で困ったことがあれば、保育士さんにお話ししてアドバイスを頂いています。お迎えの時に1日の様子等を直接教えて頂けるのも、安心材料になっています」などの声がありました。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	14	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「いつも整頓され、清潔です」、「1歳児と2歳児の小さい子達なので、安全面に気を配って下さっているのがわかり、そのため整理された空間にももちろんなっています」などの声がありました。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	14	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「不快に感じたことは一度もありません。先生方はいつも本当にニコニコ笑顔で対応して下さい」、「これなら子どもを安心して預けられる」と思える対応をして下さいます」などの声がありました。				
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	14	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「しっかりと子どもの様子を伝えてくれます。こちらの仕事の状況も気にかけて下さり感謝しています」、「すぐに連絡を下さり、必要があれば隔離して下さい、信頼できます」などの声がありました。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	11	0	0	3
79%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「どちらが悪いとかではなく、成長の過程として捉えて話して下さい、安心します」、「今までないですが、あったとしても、きっとこちらが安心できる対応をしてくださると思います」、「未だいさかいやいじめの経験がないため非該当とさせていただきます」などの声がありました。				

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いいない	いいえ	無回答 非該当
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	14	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「あまり乗り気じゃない時や甘えたい時も子どもの気持ちを受け入れて下さります。子どもの出来たことをすごく褒めて認めてくれます」、「可能な限りおもちゃや活動等子どもの希望を叶えようとしてくれます。また、子どもの話もたくさん聞いて下さって、寄り添おうとしてくれているのがわかります」などの声がありました。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	13	0	0	1
93%の方が「はい」と回答しています。特にコメントはありませんでした。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	14	0	0	0
100%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「とても詳細に説明くださるので、子供の成長を知ることができ、助かります」、「わかりにくいと思ったことはありません。保育内容の中でも、各子どもをよく見て下さっているのが、説明から伝わります」、「担任の先生は本当に子供のことを良く見ていて、1日にあった出来事を聞くのがとても楽しいです」などの声がありました。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	10	2	0	2
71%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「満足しているため、特に要望はありません」、「1人1人の家庭に合わせた対応をして下さっていると思います」、「ルールがきちりしているのは良いが、逆に要望を言うことに抵抗がある」などの声がありました。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	5	5	1	3
36%の方が「はい」と回答しています。自由意見には、「経験がない」などの声がありました。				

〔サービス分析：小規模保育事業〕

I サービス提供のプロセス項目（サブカテゴリー1～3、5～6）

No	共通評価項目		
1	サブカテゴリー 1		
	サービス情報の提供		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4 / 4
	評価項目 1		
	利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点 (〇〇〇〇)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	○非該当
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
	サブカテゴリー 1 の講評		
<u>当園のサイトは法人ホームページにあり、園の概要が一目でわかるようになっています</u> 園のホームページ（法人ホームページ上に当園のサイトを設定）には、小規模保育所として認可を受けた保育園であること、保育目標や保育方針、季節の行事、見学案内等が掲載されており、園の概要は一目見ればわかるようになっています。また、保護者向けには毎月園だよりを発行して、保育目標を含め園の活動をわかりやすく伝えています。保護者は連絡アプリを通して、子どもたちの様子を文章・写真で感じ取ることもできます。登降園の際には玄関に置かれたタブレットにて、一日の活動の動画を見られるようにもしており、保護者には大変好評です。 <u>ホームページを通して、気兼ねなく園の見学に来てくださいと伝えています</u> パンフレットでは教育方針・教育目標、一日のながれ、施設概要等をわかりやすく伝えています。ホームページにおいては、豊かな自然環境に囲まれた中で、子どもたちは元気に楽しく過ごし、笑い声溢れる健康的な園の雰囲気を伝えています。気軽に問い合わせをしてほしい旨のコメントも添えています。また、毎年の行事（入園式※、ミニ夏祭り、七夕、遠足、ハロウィン、クリスマス会、発表会※、親子ふれあい運動会※、ひなまつり、お別れ会）を示して、保護者も一緒に参加できるものには、（※）印を付けて知らせています。 <u>日野市保育課や近隣の連携園とでは、園の状況についての情報交換を密にしています</u> 日野市保育課とは、園の情報・状況・様子について連携したやり取りを重ねています。例えば、気になる子どもの給食について、園の職員だけでは対応がわからない内容について、専門的な助言をもらっています。また、同一法人の連携園の日野ふたば幼稚園とは引き継ぎ・入園の時など、申し送り・情報交換がされています。当園の卒園児がどのように成長しているか日常的に会話し、幼稚園に運動会・発表会・卒園式も見に行きます。なお、当園の見学を希望する保護者には、都合に合わせた日取りで随時見学を受け付けています。			

2	サブカテゴリー 2		
	サービスの開始・終了時の対応		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 6 / 6
	評価項目 1		
	サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点 (○○○)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
	●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
	●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
	評価項目 2		
	サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点 (○○○)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
	●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
	サブカテゴリー 2 の講評		
<u>入園時には、基本的ルール・重要事項を丁寧に納得できるように説明しています</u> 保育サービスの開始に際し、園の基本的ルール・重要事項について書かれた書類があります。それらをあらかじめ封書で保護者に送ったものを持参してもらい、施設長は保護者に対して個別に読み合わせをして、丁寧に納得が得られるよう説明しています。重要事項説明書については、説明後に同意の署名をもらっています。なお、保護者から子育てについての考え・悩み・相談事が話される場合がありますが、施設長はその内容を否定せずにアドバイスを求められない限りは、すべてを受け入れ傾聴するようにしています。 <u>支援開始の前には、個別事情・要望等を園の定めた書式に記載して保管しています</u> 保育サービスの支援開始に際して、子どもの保育に必要な個別事情・要望について、園で定めた様式「家庭状況調査票」、「健康調査票」、「緊急連絡票」への事前記入を保護者をお願いし、これらの調査票をもとに面談し、園が記載する「面談記録」と一緒に保管・管理をしています。この面談では、入園当初に対応している慣らし保育、家庭での食事、人に預けられた経験（親と離れていたこと）、睡眠の事、母乳の事、父親との関わりなど、入園後の子どもと職員が接するうえで大切な事柄を保護者から教えてもらっています。 <u>利用開始時は慣らし保育の期間を設け、子どもの不安やストレスを軽減しています</u> 入園の面談で保護者から聞いた子どもの状況・特性は、職員間で共有がされています。特に、利用開始時は慣らし保育の期間を設けて、預かる時間については子どもの状況と保護者の状況を鑑みながら、保護者と職員間で相談しながら行っています。初めての環境に子どもが慣れるためには、初日は1時間、2日目は2時間と徐々に増やしていき、子どもが泣いても保護者には必ず大丈夫と伝え、最終的には10日間を目途にしています。この間の重要ポイントの一つとして、十分に水分補給できるかということがあり、保護者には面談の時に伝えています。			

3	サブカテゴリー 3		
	個別状況の記録と計画策定		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 13 / 13
	評価項目 1 定められた手順に従ってアセスメント（情報収集、分析および課題設定）を行い、 子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点（○○○）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
	●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当
	評価項目 2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点（○○○○○）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している	○非該当
	●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達の状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
	●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
	●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直ししている	○非該当
	評価項目 3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している 評点（○○）		
	評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当	
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当	
評価項目 4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有している 評点（○○○）			
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄り等話し合う機会を設けている	○非該当	
サブカテゴリー 3 の講評			
子どもの心身・生活状況は園で定めている様式に記録しアセスメントをしています クラス担任が定期的に個々の児童票に発達状態や変化等を記録し、大切な事項は職員会議等で共有しています。なお、現在は紙面の様式に書き込む形ですが、連絡アプリを使った方法を現在検討中です。入園時から必要書類として記録したものは、個人ごとのファイルに綴じて鍵の掛かる戸棚に収納していますが、職員は誰でも参照可能です。なお、当園は週案を持ちませんが、月案に対応して「保育日誌」は毎日記帳し、月に一度、担任同士でひと月ごとのねらいと振り返り、配慮すべき点を洗い出し、アセスメントのサイクルを回しています。			

全体的な計画を踏まえて、保育目標は毎月の指導計画に展開しています

保育所保育指針に基づいた全体的な計画には、保育理念と関連付けた保育目標が設定され、1歳児では保育者と信頼関係を築き安心して過ごすことや、2歳児では自分の思いを表現して自己発揮していくことが、明確にされています。これをもとにしたクラス別(年齢別)の指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況変化に対応して月案へと展開しています。また、特別な配慮が必要な子どもには、日野市の心理士巡回相談をお願いして、心理士からアドバイスを受けて職員間で共有する等、安心安全な保育につなげています。

子どもの成長記録は日毎、月毎、3ヵ月毎で取りまとめ、成長の状況が確認できます

園や家庭での子ども一人ひとりの状況は、連絡帳のほか、毎日の「保育日誌」、月毎の「発達及び経過記録」（年齢別）、3ヵ月毎の「発達経過記録」などに記録され、個人ごと計画されたねらい（目標）と育ちの状態が対比された形で、成長の様子を的確に振り返ることができます。また、子どもの状況に関する日々の変化についての職員間の共有は、クラス毎の引継ぎボードを使って、朝の申し送りでも共有すべき事項を確認し、さらに、職員会議で話し合われた内容についても議事録に取りまとめて回覧をしています。

5	サブカテゴリー 5		
	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5 / 5
	評価項目 1		
	子どものプライバシー保護を徹底している		評点 (〇〇)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得よう にしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当
	評価項目 2		
	サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点 (〇〇〇)
	評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
サブカテゴリー 5 の講評			
<u>子どもに関する個人情報を外部とやり取りする場合には、保護者に同意を求めています</u> 子どもや保護者の個人情報の管理や適正な使用の観点から、適切な保育を行うための外部への照会、あるいは関係機関等の第三者とのやり取りする必要がある場合、あらかじめ保護者の納得と同意を得ています。他の子どもが写っている写真など、SNSなどで外部に漏らさず、あくまで個人的な使用に限ることを基本的ルールとしている旨を口頭で説明しています。なお、個人情報の取り扱いについて、今後は重要事項と同等レベルの扱いにして、方針を明文化して、園からの説明の後に同意書を求めることは有効です。 <u>子どもの人権を尊重し、羞恥心に配慮した対応をしています</u> 子どもの人権を尊重し、子ども一人ひとりの羞恥心に対して、十分な配慮をしています。例えば、上を脱いだら上を着て、下を脱いだら下を履くようにし、トイレやおむつ交換などは他から見えないようにしています。プール遊びの際にも、フェンスにシートを掛けて外部から見えないように配慮しています。また、職員は、日頃から内・外研修会への参加があり、人権に関する理解を深めています。「職員研修計画」には、外部では全国保育士会研修、園内では法人理事長によるもの(個人情報・プライバシー保護)などが載せられています。 <u>子どもの権利・尊厳について研修会で理解を深め、保育の実践に活かしています</u> 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行うことに関しては、保護者の考えや子ども一人ひとりに合わせた保育をおこなっていますが、子どもの不利益が生じる場合は、保護者との面談を行い、理解を得るようにしており、その内容は個別記録や面談記録に記載しています。また、子どもの権利や尊厳について、勉強会・研修会をもって理解を深めており、生活習慣についてそれぞれの家庭においての考えを尊重しながらも、保育や子どもの成長にどのようにつなげるのか職員間で話し合っています。			

6	サブカテゴリー 6		
	事業所業務の標準化		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5 / 5
	評価項目 1		
	手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点 (○○○)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
	評価項目 2		
	サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点 (○○)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当	
サブカテゴリー 6 の講評			
<u>熟練職員が多い中、安全保育につながる「事故防止マニュアル」が整備されています</u> 開園時の6年前に経験豊富で熟練した方がたくさん入職してくれたこともあり、自然豊かな環境のなかで、「明るく元気な子」「よく眠りよく遊ぶ元気な子」（教育目標）とともに「子どもが様々な経験をすることにより生きる力を育む」「子ども一人ひとりとしっかり向き合い個性を尊重する」（教育方針）をよく理解していただき、子どもたちに寄り添った丁寧な保育ができています。そのため、すべてのことにマニュアルを整備している訳ではありませんが、とくに安全保育につながる手引きとして、「事故防止マニュアル」（最新版）などが整備されています。 <u>マニュアルの改善は、職員や保護者からの意見・提案をもとに職員会議で検討されます</u> 「事故防止マニュアル」には午睡・水遊び・食事・誤飲・事故発生防止留意点が含まれており、必要に応じて業務点検の手段として使用している「チェックリスト」が付属しています。わからないことがあれば、施設長・ベテラン職員にすぐ聞ける体制ではありますが、サービス水準の一つとしての安全管理には特に気を配っています。運用上の細かな改善は、職員や保護者からの意見・提案を職員会議で話し合って確認をしています。なお、今後は後進のために、業務標準化の拡大を検討していく予定です。			

II サービスの実施項目（サブカテゴリー4）

サブカテゴリー4			
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
		35 / 35	
1	評価項目 1		
	子ども一人ひとりの発達状態に応じた保育を行っている		評点（○○○○○）・非該当 1
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当
	●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当
	●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当
	●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当
	●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつぎ等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当
	○あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている小規模保育事業者のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	●非該当
	評価項目 1 の講評		
	<u>小規模保育園の良さを活かし職員全員が子ども一人ひとりの全体的な姿を把握しています</u> 入園時の子どもの発達過程を知る書類一式、日々の連絡帳、健康ノートや発達・経過記録をはじめとした成長記録、個人面談等で、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握しています。1～2歳児対象の定員19名の小規模保育園であり、職員全員が子ども一人ひとりへの理解や把握が可能で個別対応がしやすい環境が整っています。子どもの成長や発達にあった保育環境の整備に努め、職員が情報共有を重ねながら、子どもそして保護者の思いを受け止め、一人ひとりを大切にする保育に取り組んでいます。		
	<u>アットホームな雰囲気の中、自由に遊び異年齢の子ども相互の関わりを大切にしています</u> 子どもたちは、アットホームな雰囲気の中で職員全員に温かく見守られながら自由に遊び、一人遊びから皆で遊ぶ楽しさを知り、自己表現や達成感を感じています。雨の日など戸外遊びができない日には、ままごとコーナーや絵本コーナー、車や電車がたくさんある乗り物コーナーなどじっくり遊び込める複数コーナーも用意し、またボタンかけやぽっとん落としなど、発達に合わせ職員が手作りしたおもちゃもたくさんあります。1～2歳児の子ども同士の関わりも多く、異年齢の保育が日常生活の中で自然な形で行われています。		
	<u>配慮が必要な子どもも、他の子どもと共に成長できるよう援助を行っています</u> 配慮が必要な子どもについて、市の心理士と連携して巡回相談も受けることが可能な体制となっています。心理士に細かく確認・相談し、職員間で話し合い、他の子どもと共に成長できるよう援助を行っています。子どものかみつきのトラブルは、ほとんどありません。ベテラン職員も多く、子ども一人ひとりのその日の気持ちや行動など把握し、連携を取り合い対応しています。自我が育つ中、言葉でやり取りできない時期のため、友だちの遊んでいるおもちゃを取ったりするトラブルはありますが、職員はその都度言葉が仕草で伝わるようにしています。		
2	評価項目 2		
	子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点（○○○○○）
	評価	標準項目	

	●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
	●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
	●あり ○なし	3. 休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
	●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
	評価項目 2 の講評		
	<u>登園時、子どもの状況を保護者と伝えあい職員全員で把握し家庭との連携を図っています</u> 登園時は、前日の家庭での様子を把握することに努め、個々に視診を行い、機嫌や顔色、表情等も観察し、健康状態を確認しています。複写式の連絡帳で内容を確認して子どもが一日元気で過ごせるように登園状態をきめ細かく確認し、活動をスタートさせています。朝の受け入れは、不在時以外は施設長が対応しています。保護者からの伝達内容は、引継ぎボード（生活チェック表）に記載し、職員間で共有・把握しています。子どもの状況を保護者と伝えあい、職員全員で把握し家庭との連携を図っています。 <u>無理なく意欲的に生活習慣を身につけることができるように、園と家庭が協力しています</u> 一日の流れを見通し、食事、排せつ、衣類の着脱、清潔等、基本的な生活習慣が身につくように保護者と連携して取り組んでいます。トイレトレーニングは発達や意欲を保護者と確認し合い「トイレ進捗状況」で子ども一人ひとり確認しながら、徐々に排せつ自立につなげています。散歩に出かけるとき自分で靴下や靴を履いたり準備を済ませ、散歩から帰ると自分から洗面所で手を洗っています。発達に応じた援助方法を職員同士で話し合い、自分でやろうとする子どもの意欲を大切に、職員が促すことなく周りを見ながら少しずつ一人でできるようになっています。 <u>子ども一人ひとりの生活リズムや体調に応じ、十分な休息が取れるよう配慮しています</u> 子どもが家庭でどのくらい睡眠をとってきたか、戸外遊びで疲れているかなどよく見て、十分な休息が取れるよう配慮しています。園は寝心地のよい午睡用の布団を用意しています。午睡中、職員は傍らを離れず、呼吸、体の向き、顔色など「午睡チェック表」にしたがい確認・記入し安全な睡眠の確保に努めています。登園時同様、降園時も保護者とのコミュニケーションを大切に保護者アンケートでも「細かなことまで伝えてくれる」など複数あります。降園時には園玄関のタブレット端末で子どもたちの様子や給食・おやつなど写真・動画で見ることができます。		
	評価項目 3		
	3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している 評点（○○○○○○○）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当	
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉（発声や喃語を含む）や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当	
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当	
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当	
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当	
評価項目 3 の講評			

お当番活動を通じて、子どもたちの達成感や自立心を育んでいます

1〜2歳児が日常的に交流しながら一緒に過ごしています。アットホームな雰囲気の保育室には年齢に応じたおもちゃを取り揃え、どんなおもちゃが入っているか見えやすく子どもが自分から遊べるようにしています。三角、四角、丸など様々な形の大きなソフト積み木も用意し、積み上げたり運んだり、トンネル作って遊んだり、戸外遊びができない日にも身体を大きく使って自由に遊ぶことができます。毎日2人の子どもたちによるお当番活動も行っており、朝のあいさつや昼食の号令など役割を通じ、自己肯定感や自立心を育んでいます。

様々な表現を楽しみ、言葉への興味と関心を育てる絵本など豊富に用意しています

表現遊びとして季節の製作や描画、歌やリズム、運動遊びなど、いずれも楽しい気持ちを自由に表現できるようにしています。年明けの製作として福笑いや節分を間近にひかえて鬼の被り物の製作など行いました。絵本に親しむ機会を大切にしており、言葉への興味を広げる年齢の子どもたちのために絵本・紙芝居を豊富に取り揃え、わかりやすく綺麗な言葉で話し、否定的な表現をしないことを職員は申し合わせています。保育室以外にも収納部屋にたくさん保管され、季節や行事など定期的に入れ替えています。

戸外遊びや散歩・散策を通して季節の変化を感じるなど、豊かな感性を育んでいます

戸外遊びや散歩・散策で子どもたちは五感に刺激を受け、たくさんのことを発見しています。園の近くは緑も多く、公園はもとより川や用水路など様々な季節の自然に触れられる恵まれた環境であり、子どもたちが心身ともに健やかに成長できるよう積極的に戸外活動を取り入れています。公園でどんぐりや落ち葉をひろったり、園の裏の用水路でザリガニ釣り、またセミを捕まえたり、かぶとむしの幼虫をもらってきてふ化させるなど昆虫など生き物を見て触れる機会も多く作っています。虫探しの探索活動で発見を楽しんだり、四季折々の季節の変化を体感しています。

4 評価項目 4
日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している 評点 (〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目 4 の講評

行事は、子どもが楽しめることを第一に考え、関心を持って取り組めるようにしています

毎月のお誕生会や七夕の会、夏祭り、親子ふれあい運動会、ハロウィン、クリスマス会、お買い物ごっこ、節分、ひな祭り会、2歳児の秋の遠足では系列園のバスで大きな公園に行き落ち葉やどんぐり拾いを行う等、年間で様々な季節の行事を通して、四季の変化を感じ心豊かにし、日本の伝統行事を学び、日常の保育に変化と潤いがもたらされています。行事は、子どもが楽しめることを第一に考え、日常の活動の延長とも考え、子どものやりたい気持ちを引き出せる活動となるようにしています。

友だちみんなで行うことの楽しさを味わえるようにしています

1〜2歳児のみの園のため、子どもたちみんなが協力して作り上げることは難しいですが、発表会では「様々表現を楽しみながら保護者の前で発表する」のねらいのもと、子どもたちみんなが合わせたダンスや合奏、歌をうたい、友だちみんなで行うことの楽しさを味わえるようにしています。お買い物ごっこでは「役になりきり、友だちや保育者とのかわりを楽しむ」のねらいのもと、たべもの屋（やきそば、パン、ラムネ等）、おもちゃ屋（糸電話、こま、でんでん太鼓）で、お店屋さんとお客さんにわかれて買い物し、それぞれ役割で買い物を楽しみました。

年間行事予定表を配付し、保護者が調整して行事に参加しやすいようにしています

年度始めに年間行事予定表を配付して、保護者参加の行事にわかりやすく印をつけ、参加しやすいようにしています。親子

	ふれあい運動会や発表会は、土曜日に設定し、保護者が参加しやすいよう配慮しており、各クラスの懇談会や引き渡し訓練も保護者が参加します。行事実施後は、送迎時に保護者から感想を聞いたり、連絡帳にも感想や意見を寄せてもらっています。1〜2歳児の小規模な園のため、保護者とのコミュニケーションも十分にとれており、寄せられた声（提案や意見等）は次回の行事にも反映しています。		
5	評価項目 5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている 評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
	●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
	評価項目 5 の講評		
	<u>保育時間の長い子どもが安心し、ゆったりと過ごせる環境になるよう配慮しています</u> 7時〜18時までの保育に加え、18時〜19時までの延長保育が行われ、仕事に合わせて利用時間を決めています。1日の大半を過ごす子どもたちが安心して過ごせるように保育時間の長い子どもも落ち着いた雰囲気の中で楽しく過ごせるよう配慮しています。迎えが遅くなったり他の子どもたちのお迎えの様子を見たりして不安な気持ちになった子には、職員とじっくりかかわれる時間を設け、1対1のスキンシップを取ったり、膝の上で絵本を読んだり、また時にはリクエストで特別感のあるおもちゃで遊んだりと安心して過ごせる環境を大切にしています。 <u>在園時間が長くなっても子どもが安心して遊べる職員体制に努めています</u> 現状18時以降の延長保育の利用はほとんどない状況ですが、在園時間が長くなっても子どもが安心して遊べる職員体制に努めています。園は少人数で日頃から異年齢保育の時間もあり、普段から担任以外の職員も関わる事が多く、どの職員が担当になっても保護者の迎えの時間までは、家庭にいるような気持ちで安心して楽しく遊べるようにしています。どの職員もすべての子どもの状況を把握した上で子どもや保護者と関わっています。迎えに来た保護者とのやり取りでは、日中の子どもの様子の報告のみで終わらせないようにしています。		
6	評価項目 6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している 評点（〇〇〇〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
	●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
	●あり ○なし	3. 子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている	○非該当
	●あり ○なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	○非該当
	評価項目 6 の講評		
	<u>国産米を使用し、子どもたちが喜ぶ栄養バランスの取れた美味しい食事を提供しています</u> 国産の米を使用した栄養バランスの取れた給食で、季節感のある献立で、美味しく安全な食事の提供に努め、子どもの健やかな成長を支えています。給食は、落ち着いた雰囲気でするように、職員の声掛けや対応に配慮しながら食事の援助をしています。子どもが給食をこぼしたり失敗しても、職員は決してさわがず落ち着いて対応することを申し合わせています。訪問調査時も、職員の食事援助で、和やかに子どもと会話しながら食事を摂る様子を見ることができました。玄関に設置するタブレットで日常の子どもたちの様子とともに毎日の献立を紹介しています。 <u>栄養士と調理師が相談して特別メニュー他見た目も子どもが喜ぶような工夫をしています</u> 献立は栄養士と調理師が相談して作成し、美味しく見た目も子どもが喜ぶような工夫をし、季節に合わせた特別メニュー、		

	誕生日メニュー、リクエストメニューなど提供しています。栄養士と調理師そして施設長、常勤職員が参加する給食会議を月1回実施し、給食の味や量、喫食状況など振り返ったり、次への課題や方針などについて話し合い共有しています。栄養士作成の「給食だより」も毎月発行し、食に関する様々視点で、保護者へ情報提供を行っています。おかわりもできて、以前に比べ美味しい給食で質も向上し、子どもたちの残食はほとんどありません。 <u>食物アレルギー対応や配慮食の提供では、入念な確認体制で臨んでいます</u> 子どもの食物アレルギーの有無や種類は入園面談で把握しています。アレルギー対応として「給食食材確認表」をもとにあてはまる食材含め毎月保護者と確認し合い、医師の診断書の提出をお願いしています。職員は当日のアレルギー対応食、除去食を確認し、トレーも食具も色を変え、配膳時まで何度も確認し合い誤配膳を防いでいます。多くがベテラン職員で誤飲、誤食を防ぐ意識は高く、現在までヒヤリ・事故等発生していないものの、子どもの確実な安全確保に向けアレルギーに係るマニュアル・手順の整備他園全体で検討・整理されることが期待されます。														
7	評価項目 7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している 評点（○○○） <table><tr><th>評価</th><th colspan="2">標準項目</th></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している</td><td>○非該当</td></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている</td><td>○非該当</td></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている</td><td>○非該当</td></tr></table> 評価項目 7 の講評 <u>子どもが病気やケガから自分で身を守ることができるよう援助を行っています</u> 散歩に出かける時は、交通ルールを伝えたり、道路や横断歩道の渡り方等、安全のために必要な行動を日々の戸外活動の中で体験しています。公園で遊びに入る前は遊具の使い方や約束を話しています。保育室内で遊ぶ時も同様です。子どもが自ら注意し事故やけがを避けることができるように話しています。感染予防につながる手洗いは、声がけだけでなく、ばい菌を追いはらう話の絵本や紙芝居、教材を使い、年齢に応じて介助しながら手洗いの習慣が身につくよう繰り返し行っており、園では日常的に子どもたちに手指消毒も行っています。 <u>心理士との連携した対応は、保護者の安心感にもつながっています</u> 現在、医療的なケアが必要な子どもはいませんが、特別な配慮が必要な子どもについて職員間での情報共有や配慮点など話し合い、他の子どもと共に成長できるよう援助を行っています。配慮が必要な子どもについて、市の心理士と連携して巡回相談も可能な体制となっています。巡回相談では、心理士が1日の保育を見て、その子どもへの保育対応含め細かく確認してもらい、今まで実施している点等相談しています。保健センターにもつなげたり、健康や発達面で気になる子どもについて市や関係機関との連携した対応は、保護者の安心感にもつながっています。 <u>保護者と連携を図り、SIDS予防含め子ども一人ひとりの健康維持に取り組んでいます</u> 入園前には家庭での生活の様子や既往歴の確認、また嘱託医による年2回健康診断や毎月身体測定なども行い、子どもたちの日々の健康状態の把握に努めています。特定の感染症にかかった際は、医師から登園証明書をもらってから登園することなどについて、入園時に保護者に説明しています。乳幼児突然死症候群（SIDS）予防についても保護者に説明しています。午睡チェックシートを使用し、10分ごとに呼吸チェックを実施し顔と体の向きも記録しています。園と保護者と連携を取りながら、子ども一人ひとりの健康維持に取り組んでいます。			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当	●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当	●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている	○非該当
評価	標準項目														
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当													
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当													
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている	○非該当													
8	評価項目 8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている 評点（○○○○○） <table><tr><th>評価</th><th colspan="2">標準項目</th></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている</td><td>○非該当</td></tr><tr><td>●あり ○なし</td><td>2. 保護者同士が交流できる機会を設けている</td><td>○非該当</td></tr></table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当	●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当			
評価	標準項目														
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当													
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当													

	●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
	●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
	●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目 8 の講評			
<u>保護者の様子も気につけ、相談しやすい関係づくりを大切にしています</u> 入園時の保護者との個人面談で、家庭状況や就労状況、家庭の意向等を個々に確認し、変更があった場合は都度記録し把握しています。当日の急な保育時間の変更にも柔軟に対応しています。保護者がいつもと違う様子であったり、気になる保護者には声をかけて、話を聞いて相談にのり、職員間で共有しながら園でできる支援に取り組んでいます。登降園の際は、子どもの園での様子だけでなく、保護者の様子も気につけ、相談しやすい関係づくりを大切にしています。定期的に個人面談をおこなっていますが、いつでも面談できるよう保護者に伝えています。 <u>保護者との会話を大切に、共通認識を図り、日々信頼関係を築いています</u> 保護者同士が交流できる機会として、行事では親子ふれあい運動会や発表会があり、クラス懇談会もあります。クラス懇談会では、作成した資料「クラス懇談会だより」にもとづき、一日の保育の流れを写真付きでわかりやすく現在の子どもの姿や年齢の発達の特徴等について説明し、保護者同士の交流も図られています。複写式の連絡帳でその日の様子、子どもの表情や微笑ましい姿が伝わるように丁寧に記載し、送迎時の数分間の保護者との会話を大切に子どもについて共通認識を図り、保護者との信頼関係を深めています。 <u>連絡帳、写真・動画掲載で子どもの姿や活動を知らせ、保護者の声を聞いています</u> 保育の見通しを保護者と共有し理解し合うために、園だよりなどを通じ保育のねらいを説明しています。日々の活動シーンや子どもたちの様子を写真で紹介し、また動画にもおさめて、園玄関のタブレット端末でいつでも見ることができます。園として保護者アンケートなど実施していませんが、例えば、行事については次の日に保護者から良かった点や気づいた点等について伝えてもらったり、日々保護者とのコミュニケーションを大切にしています。			
9	評価項目 9		
	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点 (○○)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
	●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目 9 の講評			
<u>系列幼稚園との連携、地域資源など活用しながら、子どもたちの体験の幅を広げています</u> 自然豊かな環境の中、園の近くには様々な公園があります。天気の良い日は毎日散歩にでかけ、時には公園で出会う他園の子どもたちと一緒に遊び交流を図っています。隣接する系列幼稚園の協力もあり、伝統行事として行っているおもちゃつきに参加したり、系列園の園バスを利用し秋遠足として少し遠くの公園にも出かけています。日野消防署の協力で消防車にきてもらったり、駅前の図書館で本をかりたり、近隣農家（芋ほり）やお寺の住職とも交流があります。今後、系列幼稚園と連携し、卒園後を見据え3歳児と交流を深めていきたいと考えています。 <u>職員以外の人と多く交流できる機会をもち地域交流へのさらなる取り組みが期待されます</u> 定員19名の小規模園のため地域の人を園に招くことは難しく、また地域の行事に参加する等の取り組みも現状難しい状況です。保育園開園直後に新型コロナウイルス感染症が流行してしまい、地域とのかかわりが薄い状況と認識しています。今後、園では地域とのかかわりを増やしていきたいとも考えており、昨年度の実習生受入れや以前お寺での豆まきに参加した実績もあります。例えば、地域の高齢者施設や系列園含む他園との交流等、負担の少ないところから活動を積み重ね、地域社会との交流を進められることが期待されます。			

〔利用者保護：小規模保育事業〕

Ⅲ 利用者保護に関する項目

	利用者保護に関する項目		
	標準項目実施状況		8 / 9
1	評価項目 1 利用者の意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
	●あり ○なし	2. 利用者の意向（意見・要望・苦情）に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
2	評価項目 2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点（〇〇）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
	●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
3	評価項目 3 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる 評点（〇〇〇〇●）		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
	●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
	○あり ●なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画（BCP）を策定している	○非該当
	●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
	●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
	利用者保護の講評（※利用者保護の内容から3つ（必須）記載してください）		
	苦情解決制度を利用できることは、入園前に内外の資料を手渡して説明しています 苦情解決制度の利用や園以外の相談先を遠慮なく利用できることは、入園時に、「重要事項説明書」のほか、「子ども包括支援センターみらいくだより」、「日野市知ってハンドブック」を手渡して説明しています。また、利用者の意向（意見・要望・苦情）に対応する組織的な仕組みがあり、「重要事項説明書」に相談・苦情受付担当者および責任者として載せています。これまで苦情はほとんど無く、保護者から意見等があった場合でも、職員数も少ないことから、施設長を中心に職員間での共有検討が素早くできている状態です。 不適切保育について職員は日々振り返りをし、研修や職員会議でも認識を深めています 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、あるいは虐待がないよう、職員が相互に日常の言動を振り返ることに努めています		

おり、園のなかでの防止対策を徹底しています。具体的には、研修や職員会議などで常に話題にあげて、認識を深めるとともに、保育の現場において、職員の対応の仕方で気になることなど、施設長自ら職員に近寄り声掛けをして、その場での気づきにつなげています。また、虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得た場合には、すぐに施設長に報告し、施設より関係機関に連絡する運用になっています。

避難訓練や不審者対応訓練を実施し、ヒヤリハットや事故報告書等も活用しています

戸外活動の一環として、毎日の散歩では、あらかじめ確認した危険個所では特に注意を払いながら、10人の子どもに対し3人以上の職員体制で引率し、事故等に合わないように進めています。また、避難訓練や不審者対応訓練は毎月きちんと実施し、大きな災害にあったことを想定して引き取り訓練も実施しています。さらに、ヒヤリハットや事故報告書の仕組みを活用して、より安全度を高める改善にて保育の仕組みを整えています。このように、職員は常に危険意識をもって保育にあたっています。

〔事業者が特に力を入れている取り組み：小規模保育事業〕

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	自然豊かな土地柄を活かした戸外活動と夏場の水遊びを充実に向け、取り組んでいます	
内容①	自然豊かな土地柄を活かし、積極的に戸外活動を取り入れています。公園や川にでかけどんぐりや落ち葉を拾ったり、用水路でザリガニ釣りをしたり、昆虫や生き物に触れる機会が豊富です。園の池を再活用してビオトープの整備を進めていく計画もあります。また事業計画の重点目標にも掲げた夏場の水遊びの充実に向け、暑さ対策として遮光タープやミストシャワーを導入し、水遊びを充実させて子どもたちに夏ならではの体験を提供しました。今後も安全面を考慮しながら自然や季節を感じる活動を通じて子どもたちの心身の成長を支えていきたいと考えています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-7	子どもの心身の健康を維持できるよう援助している
タイトル②	心理士の巡回相談も実現し、市と連携した対応は保護者の安心感にもつながっています	
内容②	特別な配慮が必要な子どもについて、職員間で共有や配慮点など話し合い、他の子どもと共に成長できるよう援助を行っています。今まで市の小規模保育所へ心理士の巡回相談はありませんでしたが、施設長自ら掛け合い、今年度から来てもらえるようになりました。心理士による巡回相談を受け、1日の保育を見てもらい、ほめてもらったことは今まで実施してきたことが間違っていなかったとして、職員のモチベーションアップにもつながっています。健康や発達面で気になる子どもについて、関係機関と連携した対応は保護者の安心感にもつながっています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	利用者保護（2）	虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている
タイトル③	不適切保育を常に自問自答しながら、園全体で防止対策に真摯に取り組んでいます	
内容③	昨年度の事業計画の重点目標では、不適切保育とはどのような保育か、自分の保育はどうかなど、常に自問自答しながら、また職員間で話し合う機会も多く設け、最良で適切な保育につなげようとしています。この背景には、昨今、不適切保育が問題視されていることや、昔は当たり前だったことも今は良くないということもあり、自分たちの保育をアップデートして、子どもたちに寄り添った保育を追究したいとの施設長の強い思いがあります。研修や職員会議で常に話題にあげ、時に施設長から職員に気づきの言葉を掛けるなど真摯に取り組んでいます。	

〔全体の評価講評：小規模保育事業〕

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	小規模園ならではの強みを活かした保育で、クラス担任だけではなく、職員全員で一人ひとりの子どもへ丁寧な保育を実施しています
	内容	木のぬくもりが感じられるアットホームな雰囲気の中、小規模な園の良さを活かしクラス担任だけではなく職員全員で一人ひとりの子どもへ丁寧に保育を実施しています。常勤職員が担任となり非常勤職員がそのサポートに回り、それぞれ役割を果たすとともに職員全員が子どもと向き合い意志を汲み取りながら日々保育を行っています。保護者アンケートは満足度100%（大変満足している約8割）で「子どもにとっても丁寧に接してくれています」「職員全員で子どもたちを保育していると思う」など丁寧な保育についてコメントも多く高い満足度がうかがえます。
2	タイトル	栄養バランスの取れた給食と食への関心を深める食育活動で子どもの健康と成長をサポートしています
	内容	給食では国産米を使用し、栄養士と調理師（コックさん）で相談し作成した季節感を取り入れた献立で特別メニューやリクエストメニューも取り入れ、子どもの成長をサポートしています。月1回の給食会議開催や「給食だより」で保護者に情報提供を行い食育活動にも力を入れています。芋ほり（じゃがいも、サツマイモ）やイチゴ栽培、そら豆の観察など子どもが自然や食材に触れる体験を大切にしています。食育アドバイザー資格を持つ職員もいて栄養士やコックさんと連携しながら、今後も安全で楽しい食の取り組みを充実させていきたいと取り組んでいます。
3	タイトル	「心の余裕」を重視し、職員一人ひとりが向上心をもって保育に取り組める、働きやすい職場環境を目指し、日々取り組んでいます
	内容	園では職員が向上心を持ち働きやすい環境づくりに取り組んでいます。2019年開園当時から働く職員も多くいて、極力残業しない、しっかり休憩、有給休暇の取得推進を徹底する等、お互いの気持ちで職員同士が協力し合いながら日々取り組んでいます。施設長は「心の余裕」を重視し、それが良い保育につながり、さらに保護者との信頼関係にもつながってくると考えています。今回の職員アンケートでも「職員同士思いやりがある」、「職員一人ひとりの事情を配慮した働き方」などコメントもあり、個別対応や思いやりのある職場環境が評価されています。

No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	マニュアルなどの手引書について、定期的な見直しや点検の仕組みが期待されます
	内容	安全保育に関する手引書として、例えば、リスクに配慮して策定された「事故防止マニュアル」があり、内容は午睡、水あそび、食事、誤飲、事故発生防止留意点などがあり、これら各項目における手順・ポイントが明記され園での標準的な拠り所として扱われています。なお、当園の職員は非常勤を含め、熟練した保育士が多くを占めており、わからないことが生じてこのようなマニュアルを確認する機会は少ない状況です。しかしながら、今後入職される方を想定し、必要な手引書の追加ならびに定期的な点検・見直しの仕組みが今後期待されます。
2	タイトル	苦情解決制度の保護者への周知は、公的機関や第三者委員等を含めることが期待されます
	内容	苦情解決制度の説明は、重要事項説明書に相談・苦情受付担当者および責任者を記載し、入園時にこれを示していますが、公的機関・第三者委員の記載がありません。また、今回の保護者アンケートでは、園以外の相談先（市役所関係、第三者委員）を遠慮なく利用できることの周知度は4割弱にとどまっています。保護者の相談先の周知について、入園以後の会合での説明、玄関付近の掲示、連絡アプリへのアクセス先の表示、あるいは第三者と保護者との交流の場の設定など、様々な工夫が考えられ、今後の取り組みが期待されます。
3	タイトル	研修参加者のレポートや回覧後の資料整理により、さらなる共有化や周知が可能です
	内容	職員研修計画が毎年立案されており、市役所等から随時の研修案内もあり、職員一人ひとりが学んだその研修内容は、職員会議での口頭報告や資料回覧等で共有化が図られています。しかしながら、最新の研修計画に対する実績として、どの研修に誰がいつ出席したのかをすぐに確認できるものがなく、レポートや発表資料等を見たい時に簡単に取り出すことが難しい状況です。研修会で得た貴重な資料や情報（保育へのヒント）の共有化について、実績一覧などによる見える化が期待されます。